

常盤塾

日時：2016年4月23日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 東野祐香里（前半）、三藤剛照（後半）

メンバー：安梅さん、松山さん、丸山さん、片平さん、松崎さん、今田さん、大下さん、
臼井さん、出井さん、古城さん、古川さん

アジェンダ

(1) 1分間スピーチ

(2) 常盤さんのお話

(3) 『社会的共通資本』前半（宇沢弘文） 発表者：古川さん

(1) 1分間スピーチ

●古城さん

三菱自動車の不正 共同開発している日産が気付く 燃費では honda が勝っている
フォルクスワーゲンは試験中だということでカットするのが×

常盤さん「評価の方法に問題がある」

片平先生「不思議と三菱ブランドには影響はない。三菱自動車のみ」

●出井さん

組織改編により別の研究所へ マネージャーが違くと組織も違うのか

研究所の仕事は0から1にする仕事と、1を10にする仕事がある

1を10にする場合は0を1にする場合と仕事のスタイルが異なる、気持ちを新たに

●臼井さん

農業の希望 無農薬 今後農産物は外に出さず、秋田県だけで流通させたい

…物流コストが高くなるから大変

●今田さん

4月から別の仕事に 自分が今まで忘れていたことを、仕事を通して思い出している

●松崎さん

マスキングテープ もともとは鴨居の蠅とり紙の会社 岡山の倉敷が地域と連携してお土産を売る 持っているけれど自分たちではなかなかできないアイデアを実現させる意義

●丸山さん

禅について 常盤塾で学んだ禅と今がつながった

特質は人の心にあり 人間は利益や利害の特質を考えるが、そこではない

禅そのものが、人間が本来持っている特質なのか

●片平先生

24 節気

四季を着物に表す日本文化 自然由来のものを染料にしている

●松山さん

韓国と台湾訪問 ソウルの街には緑がない、4,5日滞在すると生活のしにくさを感じる
台湾は街中に緑が多い 市内に石の市場 台湾の人々は目に見えないものに神秘的な力を感じる 自分たちの文化を大切にしている台湾の人々に親近感 学べることは多い

●安梅さん

インドネシアの貧しい地域で調査 お世話焼きなおばさんが皆を集めてサポート
ただ支援をするのではなく、そのような人を育てることが大切（熊本の震災然り）

●常盤さん

ブラック／ホワイト

「ブラックどころか無職…」 1分間スピーチではこういう話を…！

●古川さん

新年度、学生の研究テーマ 日本の女性のランキング…192ヶ国中101位

ランキングは尺度からどの程度離れているかの考察が大切

そのような問題設定が大切 そもそも尺度が間違っている、本質的な問題を掴む必要性

●東野

熊本の震災について

寄付をする芸能人を叩く人は何もしていない

今の中高生はそのような上げ足をとる人たちを見て育つ…変えていきたい

●三藤

スパイダーマン

メッセージ…人類がもう少し進化していかなければいけない

(2) 常盤さんのお話

地図…人間を含めて動植物の生きる環境がおかしくなってしまう、というメッセージ

取り返しのつかない状況

報告書の主旨…極度な緊張状態が2045年ぐらいに起きるのではないか

ある状態からそこへ達すると、急にその世界が現れる

今のままを認めたらうえでどうするか、生き物が生きられるのか、という本質的な議論が必要

人類が増えても生物多様性は減る一方

まだ本当に心配している人の声が大きくなっていない

動物はペットとして人間のそばで暮らすなど自分なりの立ち位置を獲得しているが、植物はそうではない 生け花など、ものとしての扱い ペットのように擬人化されていない（呼

びかけるような対象になっていない)

何故植物は動物と異質なのか…植物には知性がないと思われがち

しかし、植物は知性を持っている 知性とは、問題を解決する能力

光合成という仕組みの裏で動物が生きている、動物が生きているもとは植物

草、木、木材などを通して我々は生きている

今の人類はもっと植物について考える必要がある 知性を地球全体規模で見ていく必要

人間は進化の頂点にいる、という勝手な自尊心から植物を見下してきた

人類は、植物に対して矛盾だらけの扱いをしてきた

植物と動物は全く違う進化をしてきた

植物は動かない動物である 変化が遅いため人間との対話をしづらいが、脳力を持つ

人間には見えないもの ex)根

人間は目に見えるものしか見ていない 植物は人間の視力とは別の視力を持っている

人間を超えた視力 人間は五感のみ、植物は 20 の感覚を持つ

自分では動かず、動物に運ばせる 密だけでは引き寄せにくい 花などで引き寄せる

…動物が植物に操られている

人間中心に見る傾向にあるが、植物を中心にみると皆植物に操られている

人間以上に重度な能力を持つ、ということを考えるとメッセージが読み取れる

犬や猫はペットとして家族の一員のように思えるが、植木鉢は単なる装飾物

動物と植物の線引きをしているところに、人間が上位にあるという誤解がある

ミドリムシは植物、ゾウリムシは動物、というグループ分け

動物、植物の区別自体が正しいのか、そもそも区別が必要なのか

すべて包み込むところに本質がある

植物は、動物とは違った生存戦略を選択してきた

モジュールが復活して、そこから様々なものが生み出される

我々人類もそれをうまく活かせるのではないか 知のモジュール構造

我々は目でしかみていないが、植物は色々な見方をしている ex)光合成、気候などの条件

Give and take の仕組み ex)蜜や果実は、自分の子孫を運んでもらったお礼

人間は受け身で見がちだが、実は植物は積極的な行動をとっている

音楽を聞かせて育ったブドウ

植物が音波の振動を感じ取っているのではないか

人間が言葉にする戦略では勝てない

安梅さん 植物も動物と同じように扱ってきたこともある

尊敬の念を持っていない、そこから何かを頂いている、という謙虚さ

大下さん 早稲田大学の教授 学生と富士の麓で本格的に調査
今田さん 日本の枯山水は四季折々で楽しめる 禅の精神
小学校の教科書ではピラミッドは教えない
理科の教科書に出てくるのは生産者と消費者 生産者…植物のみ 面白くない
アフリカの砂漠化…羊ではなくヤギを飼うことで、ヤギが根まで食べる
常盤さん モンゴルの草原でもヤギを問題視
片平先生 自分の一生をかけるものをみつけさせてあげる
子供のおなかを震わせるようなものが少なすぎる
出井さん 「どうして動かないの？」という息子さんからの問いかけ
動かない、ということに対する子供の素朴な疑問に大事なことが含まれている
古川さん 自分の持っている経験との結びつき
人間は植物に利用されている 学びの対象としての植物が無くなっている
子供が接する植物が少なくなっている 触れるリアルなものが消えつつある
常盤さん 環境に優しいとは 思い上がり 謙虚さがあるとよい
安梅さん 植物は、自然は知性を持っている
古川さん 日本はまだ希望がある 砂漠は何もなくて可哀想？
常盤さん 物事に立ち向かって生きる能力が知性だと定義
臼井さん 知ったつもりになっていたが、今日知ったことも多い
近視眼的な自分、奢りを持っている自分を感じた ex)家の植物に水やり忘れ
新宿ルミネ…常設展示「自然環境から学ぶ」大橋先生@NEWoMAN 4/15(金)
常盤さん 視点を変えると新たな切り口があるかもしれない

(2) 宇沢弘文『社会的共通資本』(発表者：古川さん)

(発表資料参照)

- 古川さん：博報堂の出した「10年後の未来の街」で書かれている視点はコモンズ。キッチンなど何でも共有の世界もあるかもしれない。他にも窓のない家、全てのものを受け入れる未来があるかもしれない。その社会的共通資本の視点があるのはおもしろい。
自分の資源を持っている人が人に提供することでおもしろくなると思う。
- 常盤さん：コモンズ、それ事態の持っている定義や機能もかわっていく。コモンズがどうというよりも、その周辺にあるものとの対話みたいなものが重用になる。お互いに影響しあいながらよりよい社会の在り方を探っていこうとしている。
- 古川さん：よりよい社会にどうやったら近づけるかといったことは書かれていないけど、そのなかでコモンズということ意識することがあればおもしろいかもしれない。

- 古城さん：自動車をめちゃくちゃ批判しているけど、鉄道ならいいのか。
- 松崎さん：ものの物理的な制約より心のほうに主眼がいつている。
- 今田さん：実際にここにあげられている話しは実際には解決されているもの。クラウド共有地の最たるものだけどこれが普及している。情報の希少性はなくなっていった。
- 片平さん：インドネシアのイスラムは非常にコモング的。協会をベースにしながら。それとクラウドファンディング。これがまさにイスラム文化の考え方にマッチして、お金が貧しい村に集まり易い。あと堺などをみていると人間が制度設計などはできない、自ずとできていくものである。
- 臼井さん：事例を入れていくといいと考えて。八郎潟の事例はよい事例と思う。